

システムの一元管理による業務負担の軽減といった利点があります。

校務 DX では、教育委員会や学校全体の業務を見直し、

将来を見据えたシステム設計が必要です。

従来のようにネットワークを分離して管理する方法ではなく、

ゼロトラストセキュリティの考え方が重要視されています。

そのため、ID・パスワード管理やクラウドの信頼性の確認も欠かせません。

さらに、児童・生徒のデータを安全にやりとりするため、

全国レベルで帳票項目の標準化や認証基盤の整備も進められています。

単なるクラウド化にとどまらず、ダッシュボードや学習データの連携など、

より高度な設計が必要とされています。

ハンドブックは、JAPET&CEC のホームページにて PDF 形式で公開されています。

ぜひご活用ください。

▼先生と教育行政のための ICT 教育環境整備ハンドブック 2025

<https://www.japet.or.jp/publications/ict-handbook-2025/>

◇◆ トピックス (2)

【参加無料】JAPET&CEC「2025年情報教育対応教員研修 全国セミナー」開催のお知らせ

.....◆◇

9月27日(土)開催の「2025年情報教育対応教員研修 全国セミナー」には、

すでに多数のお申し込みをいただいております、

情報教育への関心の高まりを実感しています。

本セミナーは、「未来の教育」をテーマに、次世代の学び、生成 AI、

教育現場の働き方改革など、教育における重要な課題について、

専門家や実践者が多角的に議論を交わします。

教育に興味のあるすべての方にご参加いただける内容となっております。

テーマ : 子供たちの未来へつなげる、教育の羅針盤

～次世代の学び・生成 AI・働き方改革、次の50年を考える～

日時 : 2025年9月27日(土) 13:00～16:45 (開場 12:00)

対象 : 教育に興味のあるすべての方(教員、自治体、教育関係者、
企業、保護者、学生など)

会場 : 新都市ホール(そごう横浜店9階)

主催 : 一般社団法人 日本教育情報化振興会(JAPET&CEC)

☆★ (1) 紛失・置き忘れ：17件 (2) 誤公開：4件 (3) 誤送信：3件
(4) 誤配布：3件 (5) 不正アクセス：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2025年7月は、合計28件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

栃木県 2025年7月2日 小学校 書類 30件
香川県 2025年7月2日 県立高等学校 書類 40件
大阪府 2025年7月2日 市その他 書類 18件
鳥取県 2025年7月3日 県教育委員会 書類 17件
北海道 2025年7月9日 町立特別支援学校 書類 不明
大阪府 2025年7月11日 府立高等学校 書類 2件
東京都 2025年7月11日 高等学校 書類 94件
群馬県 2025年7月11日 県立高等学校 書類 34件
新潟県 2025年7月15日 県立中等教育学校 書類 458件
千葉県 2025年7月18日 市その他 USBメモリ 1,960件
埼玉県 2025年7月18日 県立高等学校 書類 177件
埼玉県 2025年7月18日 県立高等学校 書類 273件
群馬県 2025年7月22日 県立高等学校 書類 34件
東京都 2025年7月22日 都立高等学校 書類 110件
埼玉県 2025年7月23日 県立高等学校 書類 1件
群馬県 2025年7月25日 県立高等学校 書類 1件
大阪府 2025年7月30日 府立高等学校 書類 1件

(2) 誤公開

沖縄県 2025年7月4日 県立大学 インターネットサービス・アプリ 324件
三重県 2025年7月4日 高等学校 インターネットサービス・アプリ 59件
徳島県 2025年7月5日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 28件
静岡県 2025年7月31日 国立大学 インターネットサービス・アプリ 249件

(3) 誤送信

大阪府 2025年7月4日 市立中学校 電子メール 26件
群馬県 2025年7月22日 県立高等学校 電子メール 不明
東京都 2025年7月30日 区立その他 インターネットサービス・アプリ 42件

(4) 誤配布

大阪府 2025年7月9日 市立小学校 書類 35件

大阪府 2025 年 7 月 10 日 市立小学校 インターネットサービス・アプリ 35 件

大阪府 2025 年 7 月 11 日 府立高等学校 書類 4 件

(5) 不正アクセス

奈良県 2025 年 7 月 16 日 市立小学校 パソコン、インターネットサービス・アプリ 不明

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

NHK NEWS WEB／Security NEXT／下野新聞 SOON／北海道新聞デジタル／産経ニュース／

埼玉県ホームページ／東京都教育委員会ホームページ／三重県ウェブサイト／大阪市ホームページ／

大阪府ホームページ／47NEWS など

■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■

□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム

■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■ □ □ ■

◆ 【インタビュー：AI が安藤先生に聞く】 AI は教育評価をどう変える？

数十万規模 AI エージェントと共創する未来、問われる「人間ならではの価値」（後編）◆

青山学院大学・青山学院中等部 講師 教務主任 安藤 昇

教育の世界にも、テクノロジーの波が着実に押し寄せています。

特に「教育評価」のあり方は、AI 技術の進化とともに

大きな変革期を迎えようとしています。

今回は、生成 AI 教育の第一人者である安藤先生のお話を基に、

教育評価の未来図と、そこで私たちが本当に大切にすべきことは何かを探ります。

◆テクノロジーの進化と倫理的課題：私たちが守るべきもの

もちろん、学習行動がすべて記録されるようになると、

プライバシーやデータの扱いといった倫理的な課題が生じます。

この点について安藤先生は、「データ主権の考え方にに基づき、

学習ログは国内サーバーで厳格に管理することや、

過去の失敗から学び直す『再出発権』としてログのリセットを可能にすること、

AI の判断に疑問が生じた場合の透明性ある

『説明可能な仲裁』の仕組みなどが不可欠」と強調します。

テクノロジーの恩恵を最大限に活かしつつ、
個人の尊厳を守るためのルール作りと運用が極めて重要になります。

◆未来へのロードマップと、私たちが育むべき「人間ならではの質」

こうした未来の教育評価は、一足飛びに実現するわけではありません。
安藤先生によると、AI チューターを導入する「サンドボックス期」、
小規模な AI エージェントと討論などを行う「ハイブリッド期」、
そして最終的に数十万規模 AI エージェントが常にいるような「エコシステム期」へと、
2030 年頃までを見据えた段階的な移行が想定されると考えられます。

フェーズ	年次	中核技術	学校側タスク
サンドボックス	2025-26	メモリ搭載チューターBot (すでに ChatGPT によって実現)	データフロー整備・倫理研修・ 共同プロンプト設計
ハイブリッド	2027-28	小規模マルチエージェント討論	AI 評価と教師評価の二重採点で バイアス比較
エコシステム	2029-30	数十万規模エージェント常駐空間	アルゴリズム市民権 カリキュラム・年次監査

そして、最も重要なのは、
「技術が進めば進むほど、逆に人間性が問われる」という安藤先生の言葉です。
AI が知識の伝達や単純な評価を代替できるようになった時、
私たち人間、特に教育に携わる者や学ぶ者自身に求められるのは、「人間ならではの質」です。
他者への共感力、粘り強く交渉する力、自分自身の価値観と行動を一貫させる誠実さといった、
社会的な知性や人間性が、これからの教育評価の中心になってくるのかもしれません。

◆おわりに：あなたにとって、未来の教育で本当に大切なものは？

AI が教育評価のあり方を根本から変えようとしている今、
私たちは改めて「教育とは何か」「評価とは何のためにあるのか」を
問い直す時期に来ています。
もし将来、AI が採点のような作業を肩代わりしてくれるようになったとしたら、
教育の現場で本当に価値がある、あるいは人間ならではの評価される「質」とは、
具体的に一体どのようなものだとあなたは考えますか？
そして、そうした質を私たちはどうやって見極め、
どうやって育てていくことになるのでしょうか？

◆ 執筆者プロフィール ◆

安藤 昇

スタディサプリ情報I 講師

青山学院大学・青山学院中等部講師

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、今年 6 月に「令和 6 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

< 事務局 >

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>